

EP8000 POWER7 750(8233-E8B) ファームウェア変更内容と来歴

	変更内容
AL730_160_159	<p>Impact: Availability / Security Severity: SPE</p> <p>全てのシステムに影響するシステムファームウェア変更</p> <ul style="list-style-type: none"> • 投機的実行機能持つ CPU の脆弱性(CVE-2018-3639)をつく攻撃に対するセキュリティ対策を追加しました。 • 投機的実行機能やアウトオブオーダー実行機能を持つ CPU の脆弱性をつく攻撃に対するセキュリティ対策を追加しました。 • VIOS 環境でファブリック障害がある Fibre チャンネルに接続されたディスクからブートした時に、適切なエラーログを出力せずにブートに失敗する不具合を修正しました。 • 停電などにより、AC 給電が断たれた後、AC 給電が回復してもサービスプロセッサがエラー(SRC 10000AC)を表示したまま、Power off の状態に復旧しない不具合を修正しました。手動での AC 給電オフ/オンにより回復可能です。” • ”uncapped”に設定された LPAR の稼働中、プロセッサがプロセッサ・プールに移動したとき、システムがハングアップする不具合を修正しました。 • ライブパーティションモビリティを設定している場合に、移行に失敗する不具合を修正しました。 • Active Memory Sharing(LPAR 間で使用するメモリを共有する機能) を設定した装置で、ダンプ採取に失敗する場合がある不具合を修正しました。 • HWMC を接続しない構成で保守員によるハードウェアダンプの採取に失敗する不具合を修正しました。 • HWMC からのパーティション操作中に、HWMC からサーバの状態管理が出来なくなる不具合を修正しました。この不具合は、サービスプロセッサに複数のエラーが採取されている時に発生しやすい傾向があります。 • 専用プロセッサ・パーティションに設定している場合、LPAR が間欠的に無応答になる不具合を対策しました。 • HWMC とサービスプロセッサ間のネットワークに障害が発生した後、装置に 2 台目の HWMC を認識させることができない不具合を修正しました。AC 給電の OFF/ON により回復可能です。 • サービスプロセッサで検出された一部のエラーログが、OS に報告されない不具合を修正しました。 • HWMC でのパーティション削除操作に失敗する不具合を修正しました。不具合発生時には、エラーコード 4000E002 と メッセージ”...insufficient memory for PHYP”が表示されます。
AL730_146_035	<p>Impact: Availability / Security Severity: SPE</p> <p>全てのシステムに影響するシステムファームウェア変更</p> <ul style="list-style-type: none"> • Live Partition Mobility (LPM)が停止し、パーティションの移動により、移動先サーバの時刻が不正になる問題を修正しました。この問題は、移動先サーバのハイパーバイザの時刻が、移動元サーバの時刻より遅い場合に発生します。 • I/O デバイスとの応答遅延やタイムアウトが起きる可能性がある問題を修正しました。 • 回復可能なエラーにもかかわらず、エラーコード B113E504 を表示してシステムが停止する問題を修正しました。 • VIOS 2.2.2.0 以降のシステムへパーティションの移動を行っている間、移動されるパーティションがリブートする問題を修正しました。また、これより古い VIOS バージョンのシステムへ移動する場合、手動でパーティションのリポートをする必要があり、移動のリカバリも必要になる場合があります。 • L2 キャッシュエラーが同一プロセッサで 2 回発生すると、2 回目のエラーを検知してシステムが停止する問題を修正しました。 • Host Ethernet Adapter (HEA)のポートが、その物理ポートがダウンから回復したにもかかわらず、ダウン状態であると報告される問題を修正しました。 • HWMC とサービスプロセッサ間の通信にかかわる、複数のセキュリティ脆弱性の問題を修正しました。 <p>一部のシステムに影響するシステムファームウェアの変更</p> <ul style="list-style-type: none"> • 拡張装置 (THE-C7001FC5802 I/O ドロウ) が接続されているシステムで、IPL 中にコード C7004091 を表示してハイパーバイザがハングアップしたり、I/O ドロウの保守作業中にハングアップしたりする問題を修正しました。 • VIO Server(VIOS)を使用しているシステムで、クライアント LPAR 間で物理的な I/O リソースを共有している場合、仮想制御ブロックのページ移行中に、メモリ再配置エラーにより、エラーコード B700F103 でサーバが停止する可能性がある問題を修正しました。 • メモリミラーリングを使用し、かつミラーリングの最適化ツールを使用している場合、logical memory block (LMB)の内容が再配置中に、メモリの回復不能なエラーが起きると、予測不能な動作をする可能性が

	<p>ある問題を修正しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 拡張装置 (THE-C7001FC5802 I/O ドロウ) が接続されているシステムで、I/O ドロウの電源ユニットの障害が、電源ユニットのマイクロリセットや、電源ユニットの交換で回復したにもかかわらず、障害を報告し続ける問題を修正しました。 ・ 拡張装置 (THE-C7001FC5802 I/O ドロウ) が接続されているシステムで、I/O ドロウの電源ユニットの交換中に、誤って Voltage Regulator Module (VRM) の障害を報告し、エラーコード 10001511 および 10001521 を記録する問題を修正しました。この問題が発生すると、I/O ドロウの電源ユニットが起動しなくなります。 ・ LPM の操作を行っているシステムで、メモリークにより、run time abstraction service (RTAS) が、エラーコード 0c20 でパーティションランタイムの AIX のクラッシュを引き起こす問題を修正しました。 ・ 複数のブートパーティションを持つディスクデバイスがあるシステムで、System Management Services (SMS) で 1 つのブートパーティションしか表示しない問題を修正しました。 ・ 拡張装置 (THE-C7001FC5802 I/O ドロウ) が接続されているシステムで、ドロウの電源電圧レベルの異常をエラー報告せず、電源の冗長性が失われたことを検知できない問題を修正しました。 ・ 拡張装置 (THE-C7001FC5802 I/O ドロウ) が接続されているシステムで、電源系統の異常によりドロウ内のリソースが使用できなくなる問題を修正しました。 ・ AIX を使用しているシステムで、InfiniBand Host Channel Adapter (HCA) が障害、または機能低下している場合、AIX が強制終了する問題を修正しました。 ・ 休止していたパーティションの再開処理中に、状態を格納していたページングスペースとの接続が切れた場合、再開処理がハングアップする問題を修正しました。 ・ ミラーリングしているメモリのデフラグメンテーション中に、アドレス不正によるエラーを検知し、システム停止する問題を修正しました。 ・ LPM が行われているシステムで、移動先のシステムにパーティションが正常に移動したにもかかわらず、エラーコード 2005 でハングアップする問題を修正しました。 ・ ブートできるデバイスが多数あるパーティションで、ブートが失敗し、エラーコード BA210000 が記録される問題を修正しました。
AL730_099_035	<p>Impact: Availability Severity: SPE</p> <p>全てのシステムに影響するシステムファームウェア変更</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SRC B170E540 でシステムがクラッシュする問題を修正しました。 ・ 乏しい構成のパーティションを扱うライセンスのないコアを持つサーバをリポートした後で、コンフィグレーションのイニシャライズ操作が HWMC から行われたときに、アフィニティマネージャが動作するようにファームウェアを改良しました。 ・ Dedicate 設定のプロセッサがあるパーティションを、Live Partition Mobility (LPM) を行った後にリポートすると、SRC BA33xxxx でハングする問題を修正しました。 ・ RC B124E504 "Chnl init TO due to SN stuck in recovery" のログが採取された場合に、正しい field replaceable units (FRUs) が通知されるように変更しました。 ・ システムファームウェアのインストール後、SRC B1818A10 が誤って記録される問題を修正しました。 ・ 仮想ファイバチャネルテープドライブからのブートが SRC B2008105 で失敗する問題を修正しました。 ・ SRC BA180030 と BA180031 が "Predictive" でなく "Information" と記録されるよう修正しました。 ・ OS が AIX のシステムで、Host Ethernet Adapter (HEA) 上に大量の AIX が稼働している際に HEA のエラーが記録された後、SRC B7000103 でハイパーバイザがクラッシュする問題を修正しました。 ・ パーティションのサスペンドに失敗する問題を修正しました。 ・ 回復不能なエラー SRC B7000103 (ErFlightRecorder) でスタックが失敗し、システムがクラッシュする問題を修正しました。 ・ "RMGR_PERSISTENT_EVENT_TIMEOUT" の SRC B181E6F1 が誤って記録される問題を修正 ・ Advanced System Management Interface (ASMI) メニューによるシステムオペレーティングモード ("M" または "N") の変更が、コントロールパネル (オペレータパネル) に反映されない問題を修正しました。 ・ サービスプロセッサファームウェアでメモリークが起こる問題を修正しました。 ・ 複数のシステム IPL の間、SRC B155A491 が誤って採取される問題を修正。この SRC はシステムの停止を引き起こす場合があります。 <p>一部のシステムに影響するシステムファームウェアの変更</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ stride-N ストリームプリフェッチ命令、dcbt (TH=1011) または dcbtst (TH=1011) を活用したシステムで、パフォーマンス低下を引き起こす潜在的な要因を修正しました。 ・ Hardware Management Console (HWMC) を使用するシステムで、Advanced System Management Interface (ASMI) のアクセスに Internet Explorer (IE) を使用した場合、ASMI でネットワーク関連のパラメータの変更後、IE が約 10 分間ハングする問題を修正しました。 ・ アンカー (VPD) カードの交換後、アンカーカードの交換を要求する SRC A70047FF (infomational) が誤って記録される問題を修正しました。 ・ 57961/O ドロウ (G30) が接続されたシステムで、システムハングする可能性がある問題を修正しました。 ・ HWMC で運用するシステムで、HWMC 上での "lsslot" コマンドが、vlan インタフェース上の送受信パケット数を誤って高い値を表示する問題を修正しました。 ・ リモートでリスタートできるパーティションを作成した後、そのパーティションのページングデバイスがオン

	<p>ラインであっても、ブートモードやキーロック設定ができない問題を修正しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 検知できない N-mode の安全性の問題と、FC5802 I/O ドロワの電源サブシステムで報告されるエラーを修正しました。
AL730_078_035	<p>Impact: Availability Severity: HIPER</p> <p>全てのシステムに影響するシステムファームウェア変更</p> <ul style="list-style-type: none"> ASMI の"システム・サービス・エイズ"下の"Deconfiguration Records"メニューオプションで、メモリコントローラでの手動操作ができないようにファームウェア修正をしました。 回復可能な SRC B113E504 で、プロセッサコアの SRC 報告をしないように閾値の修正をしました。これにより不要な性能低下やプロセッサモジュールの不要な交換を防げます。 "power on" 時 SRC B7000602 が誤って記録される問題を修正しました。 I/O ドロワ (FC 5802) 搭載の AIX と VIO (Virtual Input/Output) が稼働するシステムで SRC B700F103 でシステムが正しく動作しない問題を修正しました。 AC 電源の抜き差し後、PCI スロット異常の LED が誤って点灯する問題を修正しました。 オペレーティングシステムまたはアプリケーションでエラーが発生したとき、機能プロセッサコアが SRC B7005442 を誤って記録する問題を修正しました。 システムが SRC B18187DA で正しく動作しない問題を修正しました。 SRC B2006009 でパーティションをアクティベートできなくなる問題を修正しました。 ハードウェア障害によりエラーを継続して記録しているとき、サービスプロセッサが停止し、SRC B18138B7 が誤って記録される問題を修正しました。 ASMI (Advanced System Management Interface) メニューで、言語選択に関係なく英語が表示される問題を修正しました。 ハイパーバイザのメモリアクセス時、パーティションのメモリ全てを訂正不能メモリーエラーとした問題についてファームウェアを修正しました。 システムブート時に記録される情報 "informational" レベル SRC 10009002 の回数を減らすようにファームウェアを修正しました。 プラットフォームダンプが生成されるとき、同じエラーに 2 回障害通報が行われる問題を修正しました。 回復不可 "unrecoverable" レベルの SRC B181A809 が誤って記録される問題を修正しました。 回復不可 "unrecoverable" レベルの SRC B181A403 でシステムブートが停止する問題を修正しました。 サービスプロセッサのファイルシステムのスペースが満杯の時、プラットフォームのシステムダンプの削除ができない問題を修正しました。 MSD (main store dump) 後、パーティションがアクティベートできない問題を修正しました。 システムの電源 ON から 1 時間以内にアクティベーションすると、パーティションのアクティベートが失敗する問題を修正しました。この問題は、I/O スロットを数多く持った大規模なシステムで発生する可能性が高くなります。 電源を OFF/ON した後でリポートしたときに、システムが停止する問題を修正しました。 パーティションの RMA (reserved memory area) に影響する回復不可エラーが記録された後のパーティションリポートで、SRC B170E540 が発生してパーティションのリポートが失敗する問題を修正しました。 サービスプロセッサのリセット後、SRC B181156C、B181A40F が誤って記録される問題を修正しました。 パーティションメモリに訂正不能誤りが記録された後のパーティションのリポートが遅延する問題を修正しました。 SRC B181C3251 で重要度レベルを "predictive" から "informational" として記録するようにファームウェアを修正しました。 TPMD ("thermal/power management device" 温度/電源管理デバイス) が正常にリセットしたとき、SRC B1812A11 で "service action required" の代わりに、"informational" 情報として記録するようにファームウェアを修正しました。 誤って SRC B18186x1 を記録し、FSP (フレキシブルサービスプロセッサダンプ) を生成する問題を修正しました。 SRC B181E550 に対して、FRU (フィールド交換ユニット) の適用指示を修正しました。 サービスプロセッサまたはその電源を交換後に、システムパーティションの日付が 1969 年に戻る問題を修正しました。これは、サービスプロセッサの TOD クロックが正しくサービス実行中に設定されたかどうかに関係なく発生します。 SRC B700F103 でシステムが正しく動作しない問題を修正しました。 <p>一部のシステムに影響するシステムファームウェアの変更</p> <ul style="list-style-type: none"> AIX または VIOS パーティションで、tprof (-a, -b, -B, -E オプション) コマンドまたは pmctl (-a, -E オプション) コマンドを使用した場合、パフォーマンスに影響をあたえる問題を修正しました。 I/O ドロワ (FC5802) が入力電源異常 (SRC 10001512 or 10001522) から回復したことをオペレーティングシステムに通知できなかった問題を修正しました。 Ax720 から Ax730 にアップグレードされるシステムで、ファームウェア・アップグレード中に、ログ B1818A0F が取られた場合、重要度を 'predictive' から 'informational' として扱うように、ファームウェアを修正しました。

	<ul style="list-style-type: none"> • AMS (Active Memory Sharing) 稼働システムで、メモリ配置により性能を向上する改良をしました。 • ディスク・ヘッダが消去されなかったので、論理パーティションの AMS 実行が失敗し、中断する問題を修正しました。 • AMS (Active Memory Sharing) 、AMM (Active Memory Mirroring) 稼働システムで、メモリアロケーションを失敗する問題を修正しました。このことが、SRC A2009030 でパーティションのブートを失敗した原因です。 • deconfigured したプロセッサコアを持ち、DPS (Dynamic Power Save) モードで稼働中の AEM (Advanced Energy Manager) を用いたシステムで、プロセッサ電圧が誤ってセットされる問題を修正しました。これはシステムがより多くの電力を使う原因になりました。 • HWMC で管理され、類似グループを使ったシステムで、パーティションの一つが正しく置けない問題を修正しました。 • 3 つあるいは 4 つのプロセッサカードを持ち、さらに FCO (field core override) オプション (FC 2319) を使用している 8233-E8B 、8236-E8C モデルで、システムブート時、利用可能なプロセッサ数をいくつかのケースで誤って計算してしまう問題を修正しました。 • 2 つの仮想プロセッサで構成された、共用プロセッサパーティションで、1.0 の物理プロセッサ容量を超え、物理共用プロセッサに 1 つのプロセッサしか存在しないとき、ハングアップする問題を修正しました。 • 管理システムプロセッサが HWMC で間違った表示をする問題を修正しました。この問題は、システムブート時にパーティションが定義されていないとき発生します。たとえば、MES アップグレード後に起こる可能性があります。 • VIOS 稼働中のシステムで、SRC B700F103 でシステムが正しく動作しない問題を修正しました。 • プロセッサとメモリの関連付けがないシステムで、システムパフォーマンスが低下する問題を修正しました。AMS (Advanced Memory Sharing) 稼働システムで、LPAR 作成中にシステムが正しく動作しない問題を修正しました。 • パワーセーブモードでのシステム待機で、システムリブートしたときに誤った SRC B150B943, B113C660, B113C661 が記録される問題を修正しました。 • AMS (Advanced Memory Sharing) 稼働システムで、AMS プールを使用した VIOS (virtual I/O server) パーティションがシャットダウンできない問題を修正しました。 • 専用メモリが割り当てられているパーティションシステムで、パーティションの再開操作で、HWMC の SRC HSC0A945 となり専用メモリ割り当て失敗となる問題を修正しました。 • shared processor partitions が稼働するシステムで、パーティションがハングアップする問題を修正しました。この問題は電源 OFF/ON まで回復しません。 • AEM (Advanced Energy Manager) 稼働中のシステムで、システムがセーフモードの場合、プロセッサの使用率の計算が正しくない問題を修正しました。 • FC 5740 (4-port GB Ethernet adapter) をインストールしたシステムで、SRC B7006970 が誤って 2 回記録され、ブート時のアダプタ構成認識を失敗する問題を修正しました。 • VIOS 稼働中のシステムで、VIOS コマンド "lsmmap -npiv -all" で間違ったロケーションコードが出力する問題を修正しました。 • 4096 以上の仮想スロットを持つパーティションの移動操作ができない問題を修正しました。 • AMS (Advanced Memory Sharing) 稼働システムで、AMS パーティションが移動するために必要な時間を短縮するようにファームウェアを改良しました。 • DB2 pureScale 稼働システムでの、RMDA (remote direct memory access) の断続的なエラー、そして pureScale サーバプロセスのコアダンプが取られる問題を修正しました。 • プロセッサとメモリの関連付けがないシステムで、ブート時間とシステムパフォーマンスを向上するように、ファームウェアを改良しました。 • 複数のハードウェアエラーが発生したとき、サービスプロセッサはリセット/リロードを起こし、システムがハングアップする問題を修正しました。 • 仮想スイッチ稼働システムで、特定の仮想スイッチへアクセスできるパーティションの数を制限するように、ファームウェアを修正しました。 • 8202-E4B 、8205-E6B システムで回復不可 "unrecoverable" レベルの SRC 11003116、B1754201 が誤って記録される問題を修正しました。 • 8231-E2B システムで、システムファンが数分間、通常より速く動作する問題を修正しました。
AL730_035_035	<p>Impact: New Severity: New</p> <p>新機能</p> <ul style="list-style-type: none"> • 4GB 以上のシステムプラットフォームダンプをサポートしました。 • FC5887 SAS ディスクドロワをサポートしました。 • 750(POWER7)システム装置でプロセッサ デコンフィグレーションをサポートしました。 • 750(POWER7)システム装置 CPU 3.6GHz モデルをサポートしました。 <p>全てのシステムに影響するシステムファームウェア変更</p> <ul style="list-style-type: none"> • SRC B1812616 または B181261D のエラーが誤って記録される問題を修正しました。この SRC はどちらも TPMD (thermal/power management device) カードの故障を指摘するものです。VRM (voltage regulator module) に障害が発生して SRC 11002630 のエラーが記録されたときに発生します。 • ASMI (advanced system management interface). またはコントロール (オペレータ) パネルからランプテスト

	<p>を開始したとき、その実行に失敗する問題を修正しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> サービスプロセッサの時刻が早い時間に合わせられたとき、タイマー起動機能によるシステム電源オン時間が正しく設定されない問題を修正しました。この問題は、たとえば、秋に夏時間が終了し、時計が元に戻されると発生する可能性があります。 <p>一部のシステムに影響するシステムファームウェアの変更</p> <ul style="list-style-type: none"> ASMI(advanced system management interface)上の HMC2 のポートが誤ってダイナミック IP アドレスでなく初期設定値のスタティック IP アドレスに戻る問題を修正しました。 プラットフォームの起動後、一度シャットダウンしたパーティションの起動または再起動中に、SRC: B2001230 と word 3 = 000000BF が採取されリポートが失敗する問題を修正しました。この問題は、PCI.PCI-E.PCI-X スロットを構成に含むパーティションで起こる可能性があります。 DLPAR(dynamic LPAR)によるパーティション間のプロセッサリソースの移動ができなくなる問題を修正しました。 HMC により管理されているシステムにおいて、HMC の component report (component interval activity) によって uncapped CPU が 100%利用可能であると表示され、他のシステムがプロセッサリソースを使用または解放しても表示が 100%のまま増加も減少もしない問題を修正しました。 HMC により管理されているシステムにおいて、HMC GUI からパーティションプロファイルのアダプタ情報を表示する際、接続されているデバイスが表示されるように改良しました。 HMC により管理されているシステムにおいて、管理されているシステムが HMC 上で Incomplete 状態になる問題を修正しました。 HMC で管理されたシステムにおいて、システムをブートしたときに、エンクロージャインジケータを消灯したにもかかわらず、HMC のアテンションインジケータが点灯したままとなる問題を修正しました。 POWER6 から POWER7 のシステムにパーティションを移動するときの、AIX ライセンスの問題を修正しました。パーティションの移動後、移動先のシステムに(パーティション再起動前に)この問題が存在した場合、AIX の”uname -m”コマンドは期待する結果を返さない可能性があります。 再起動を行わずにシステムファームウェアの稼働時インストール、あるいはパーティションのマイグレーションを数回行った場合に、SRC BA330002 が採取されてパーティションがクラッシュする問題を修正しました。
AL710_097_043	<p>Impact: Availability Severity: HIPER – High Impact/PERvasive, Should be installed as soon as possible.</p> <p>全てのシステムに影響するシステムファームウェア変更</p> <ul style="list-style-type: none"> サーバ起動時の SFLPHMCCMDTASK 実行中に SRC:B7000602 のログを出力し、ハードウェアマネージメントコンソール上で incomplete ステータスとなる問題を修正しました。この問題はシステムクラッシュを引き起こす可能性があります。 ハイパーバイザが指示したサービスプロセッサの reset/reload が完了した後で、サービスプロセッサの reset/reload が繰り返して起こる問題を修正しました。この問題によってサービスプロセッサとハイパーバイザの間の通信が失われます。(SRC:B182951C が採取されます。) SRC:B2008151 を出力してブートに失敗する問題を修正しました。この問題が発生すると、LPAR の操作ができなくなり、LPAR のコンフィグレーションも変更できなくなる可能性があります。これを回復させるためには、サーバのリポートが必要です。 ホストイーサネットアダプタ(HEA)からインフォメーションの SRC:B70069DA が誤検出される問題を修正しました。この問題は、ハイパーバイザからサービスプロセッサに通知され、ハイパーバイザとサービスプロセッサの通信により不必要な負荷を生じます。 ログリペアアクションが完了したにもかかわらずエンクロージャのアテンション LED が点灯したままで、消灯できなかった問題を修正しました。 ASMI で LED インジケータを消灯する機能が、正しく働くようにファームウェアを修正しました。 ASMI メニューを使用して、障害/識別を示すLEDのインジケータを消灯できない問題を修正しました。 登録された予兆エラーのリカバリに失敗し、システムの IPL が失敗する問題を修正しました。この問題は多くのコンポーネントを搭載したドロワで構成されたシステム上でいくつか発生しました。 エラーログに SRC:B181261D と B1812A60 が誤って記録される問題を修正しました。 インフォメーションレベルの SRC:B70069DA が、1 分間に 3 回の頻度で記録される問題を修正しました。 SRC:B2008151 を記録してクラッシュする問題を修正しました。 I/O アダプタで回復可能な EEH(enhanced error handling)エラーが記録されたときに、DLPAR(dynamic LPAR)操作をしていないのに DLPAR エラーを示すログが記録されたり、回復不可能な SRC: BA180010 や BA250010 が誤って記録される問題を修正しました。 ハードウェアのエラーがシステムのブート中に検出されたとき、アテンション LED の代わりに識別 LED が点灯する問題を修正しました。
AL710_086_043	<p>Impact: Function Severity: HIPER – High Impact/PERvasive, Should be installed as soon as possible.</p>

	<p>全てのシステムに影響するシステムファームウェア変更</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SRC:B170E504(SRC:データの word8 = 0x01EE0005)が採られてシステムがクラッシュする問題を修正しました。この問題は どのような状況でも起こる可能性があります、分割パーティションまたは SMT2 (simultaneous multi-threading 2)モードで動作している場合に発生する可能性が高くなります。 ・ 電源に関連する SRC:110015x0 が記録されても、システムインフォメーション LED が点灯しない問題を修正しました。 ・ IPL 速度を別の方法で変更したとき、コントロールパネルの IPL 速度を自動で更新するよう改良されました。 ・ 未定義のエラーコード(SRC:B113E504)が誤って記録される問題を修正しました。 ・ システムから1つのファンが引き抜かれたとき、エンクロージャのアテンション LED が点灯しない問題を修正しました。また、この時、ASMI メニューで示すロケーションコードに誤りがありました。 ・ 主記憶のダンプを実行中に SRC:B181B8F8 または B181B86A が誤って記録される問題を修正しました。いずれの問題も SRC が記録されて主記憶のダンプデータの収集ができなくなり、障害回復に本来不要なハードウェア交換を指示していました。 ・ サービスプロセッサエラーログエントリ中のリセット/リロードビットが正しくセットされない問題を修正しました。 ・ 誤った SRC:B181E911 が生成され ASSIST 通報される問題を修正しました。また、この問題で不要なサービスプロセッサダンプが起こります。 <p>一部のシステムに影響するシステムファームウェアの変更</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ パーティションを POWER7 サーバから POWER6 サーバへライブパーティションモビリティで移行するとき、誤って SRC:BA210000 または BA280000 が記録される問題を修正しました。 ・ ハードウェアマネージメントコンソールで管理されたシステムにおいて、アウトオブメモリが発生した結果、SRC:B181720D が採取され、サービスプロセッサがクラッシュする問題を修正しました。 ・ ハードウェアマネージメントコンソールで管理されたシステムにおいて、ハードウェアマネージメントコンソールからサーバが“Incomplete”の状態に見える問題を修正しました。この問題は、多くのサービスプロセッサダンプを引き起こします。
AL710_065_043	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新規リリース

株式会社 日立製作所 IT プラットフォーム事業本部 2020 年 3 月

(c) Hitachi, Ltd. 2020, All rights reserved.